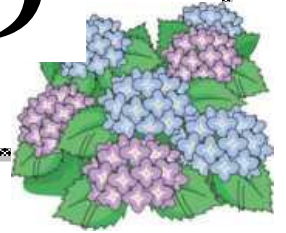




松林小だより

令和4年 5月 31日 第 3号

茅ヶ崎市立松林小学校 校長 平木 恵美



子どもたちは、様々な活動の中で成長しています！

朝校門に立って挨拶をしていると、「泣いて動かない低学年の子がいたので心配で・・・」と知らせてくれる児童がいます。本当に優しい子どもたちだと感じました。人を気にかけること、困っている人に気がつくこと、人と関わろうとすることは大切な力です。そのような力は言って聞かせるだけではなく、様々な活動を通して人と関わりあう中で自然に育っていくように感じます。

5月の連休があけると共に、学校では様々な活動が活発に行われています。教室で学ぶ以外にも、様々な場所で活動する中で、時には先生以外の人とも関わりながら、様々な学びをしています。異学年の人や地域の方などに関わる中で、人と関わることの楽しさや温かさを感じることも多くあると思います。しかし、その一方で、時には活動や関わりがうまくいかず、トラブルや困ることもあります。トラブルや困ることと聞くと、一見良くないことのように思われますが、そのトラブルから学ぶこともたくさんあります。集団生活をする中でのルールの大切さを学んだり、自分とは違う考え方や感じ方をする様々な人がいることを知ったりすることもあります。トラブルの際、子どもがしっかりと振り返りをし、次の一步が踏み出せることを信じ、必要な手助けをしながら支えていきたいと思ひます。時には、保護者の皆様と連携し、子どものためにどうしたらよいか一緒に考えさせていただくこともあると思ひます。よろしくお願ひいたします。

→ 1年生を迎える会でクイズを出しました



→ 1年生が給食に出るから豆の皮むきをしました



→ 4年生が地域の方の指導の下、粃だねを蒔きました



しょうりんしょうがっこう 松林小学校のステキ発見！ (このコーナーは児童の皆さんも読んでくれたらうれしいです)

5月から、1年生もお掃除をするようになりました。まだ自分たちだけではできないので、掃除の時間に、6年生が1年生と一緒に掃除をしながら教えています。教室だけでなく下駄箱でも掃除の仕方を教えていました。

また、先日は1年生が2年生に案内されながらに学校探検をしていました。2年生は、1年生に案内するために事前に説明資料をつかって本番に臨んでいました。どちらも毎年行われている活動です。

異学年の交流はこの先もあると思ひますが、毎年こういった活動を通して、異学年のよりよい関わりができ、いろんなことが引き継がれていっている松林小学校です。とっても優しいお兄さんお姉さんと、少し恥ずかしがりながらもうれしそうにしている1年生の間にステキな関わりが生まれてきています。

